

ミクロネシア産油料植物あいすニ就テ

金 平 亮 三

KANEHIRA, R.: On "Ais" *Parinarium glaberrimum* HASSK.

近頃油脂植物トシテ有名ニナツタ南洋群島産あいすトハ何カ。本樹ハ中喬木
 デ我南洋 パラオ、ヤツブ、トラツク、ポナペ、クサイ ノ諸島ニ産シ マリアナ 群島
ヤルート島ニハ無イ。ソノ實ヨリ得ル油ハ蓖麻子油ノ代用ソノ他塗料トシテ利
 用セラル、ニ至ツタ。

種 名

本樹ノ學名ハ從來屢々他ノ種類ト混同セラレテ居タガソノ正確ナル名稱ハ次
 ノ通りデアル。

Parinarium glaberrimum HASSKARL in Tijdschr. Nat. Gesch. **10** (1843)
 147 *nomen nudum*, Cat. Hort. Bogor. (1844) 269 *nomen nudum*, Flora **27**
 (1884) 583; MERRILL, Interpret. Herb. Amb. (1917) 247, Enum. Philip. Fl. Pl.
2 (1923) 236; KANEHIRA, Fl. Micronesica (1933) 127, f. 42, Enum. Micr. Pl.
 (1936) 324.

Parinarium scabrum HASSKARL l. c., Miq. Fl. Ind. Bat. **I**, 1 (1855) 354.

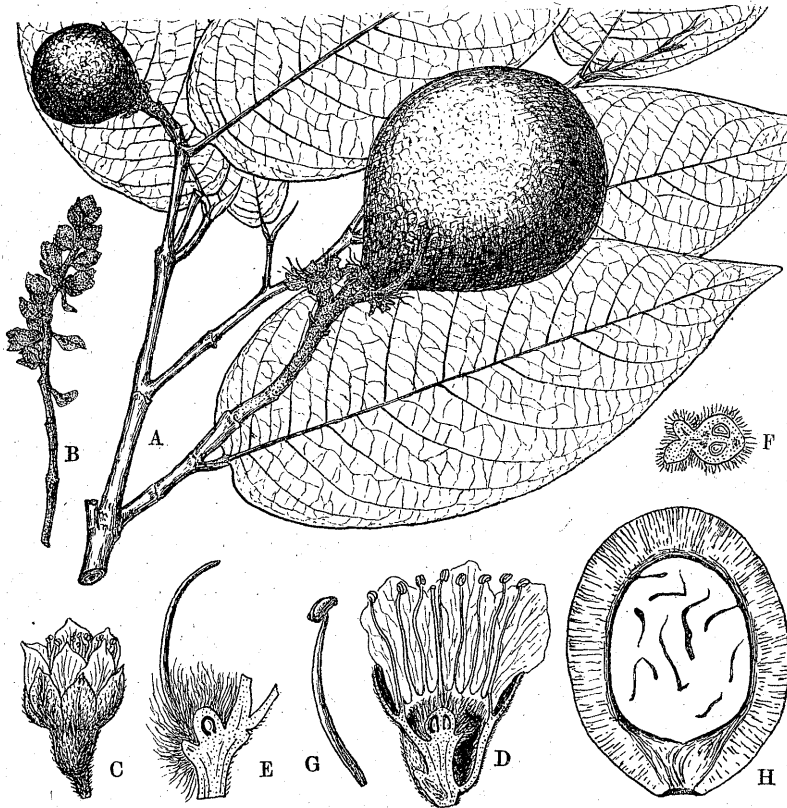
Parinarium laurinum A. GRAY, Bot. WILKES U. S. Explor. Exp. (1854) 490,
 t. 55.

Parinarium corymbosum (non MIQ.) KANEHIRA, Enum. Micr. Pl. (1936)
 324, p. p.

Parinarium Hahlii WARB. in Tropenpflanzer **6** (1902) 370, *syn. nov.*

名 稱 ・ 分 布

本樹ノ島名ハ區々異テキル。パラオ島デハぐりちん、あがりつつむ、ヤツブ島
 デハやらーで、あぢぢ、ポナペ 及 ビトラツク 島デハあいすト呼ンデキル。ソノ
 分布ハ瓜哇、比律賓、馬來、太平洋諸島ニ及ンデキル。又 *Parinarium* 屬ハマラ
ヤ、比律賓、ニューギニア、ポリネシア、アフリカ、南米 等廣區域ニ分布シソノ
 種類ハ 110-120 ニ達シテキル。ミクロネシアデハ本種ノ外ニ別記 *Parinarium*
palauense KANEH. ガアル。又 *Parinarium corymbosum* MIQ. ハ從來パラオ
 ニ産スルモノト考ヘタガ之レハ筆者ノ鑑定ノ誤リデ本種ニ外ナラナイ。即チ

Fig. 1. *Parinarium glaberrimum* HASK.

A 實ヲ有スル小枝 B 花序 C 花×1 D 同縦斷×1
E 子房縦斷 F 同横斷 G 雄蕊×2 H 實縦斷×3

Parinarium corymbosum ハソノ葉ガあいすニ比シ甚ダ小、實ハ紡錘形、長サ3-4cm、徑2cm デアルカラ著シキ特長ヲ持ツテ居リ、あいすトハ容易ニ區別ガ出來ル。

又 O. WARBURG ハボナペ島ニ産スル本種ハソノ葉ガ狭ク腺ヲ有セザルコトヲ理由トシテ新種トナシ副知事 Dr. HAHN ニ獻名シテ *Parinarium Hahni* WARB. トナシタガ之レモ亦異名ニ外ナラナイ。

形 態

あいすハ中喬木・徑15-30cm ノモノガ多イガ時トシテハ大喬木トナル。溪谷、

平地 叢林中ニ散在シ時ニハ純林
 状ヲナスコトガアル。幹ハ比較的
 通直デアリ樹冠ヲ擴大スル。樹皮
 ハ平滑茶褐色。葉ハ長橢圓形長サ
 10-15 cm、幅 3-6 cm、全縁、鋭頭
 乃至鈍頭、基部ハ鈍形又ハ圓形、
 葉柄ノ着部、側脈ノ基部ニ蜜腺ガ
 アル。葉柄ハ暗褐色長サ 5 mm、白
 色ノ毛茸ヲ散布スル。花ハ腋生、
 短キ穗状花序、灰白色ノ毛ヲ被ム
 リ兩半同形、白色ノ花ヲ開キ萼筒
 ハ漏斗狀、5 裂、木質、兩面ニ密
 毛ガアル。雄蕊ハ一側ニ偏シ 20-
 30、花外ニ抽出、基部ハ癒着、花柱
 ノ下部ト子房ニ長毛ヲ密生スル。
 子房ハ 2 室又ハ 1 室?、卵子ハ 1
 室 1 個、直立、核果ハ球形、卵形、
 橢圓形、大キサ一定セザルモ普通徑 5-10 cm、外面粗糙、褐色、小瘤起ヲ有シ、外
 果皮薄ク、内果皮厚シ。子葉ハ肉質、錯道質、油分ニ富ミ油脂原料トシテ利用セラル
 ル、部分デアル。

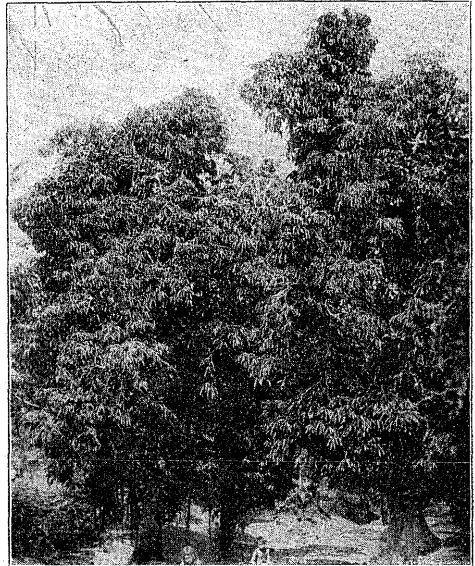


Fig. 2. あいす 樹木、パラオ
 (或寫眞ニヨル)

油ノ採取

あいす油ノ採取及ビ利用ハ各島必ズシモ同一デハナイガパラオ島ニ於ケル方
 法ハ次ノ通りデアル。實ハ林内ニ落下シタモノヲ拾フカ又ハ稗ヲ以テ叩キ落シ
 一ヶ所ニ集メ堅キ果皮ヲ除キ肉質ノ子葉ヲ取り出ス、之レヲ「クリウス」ト名
 ズケタ亜鉛板製ノ「大根オロシ」デ摺リ、粉末狀トナン鍋ニ入レ水ニテ煮沸シ
 油ヲ分離セシメル、然ル後古々椰子ノ籐纖維デ濾過シ、夾雜物ヲ除キ、油ガ水
 ト分離スルマデ放置スル。

利 用

あいす油ハ島民ガ必要ニ應ジテソノ都度採集利用スルニ過ギヌガ、丸木舟ノ
 塗料トシテハ缺クベカラザルモノデ又魚獲用びすかんト稱スル槍ノ双ト柄ノ接
 合部ニ塗ルコトガアル、防腐ト防水ノ用ヲナス爲デアル。コノ實ノ利用ニ關ス
 ル文献ハ少イガ前記 Warburg ハボナベ島ニ於テ丸木舟ノ塗料ニ用ヒラレルコ

トヲ述ベテ居ル。

フィジー島デハ Makita ト稱シ
古々椰子油ニ芳香ヲ附スル爲メ
ニ用ヒラレ、Admiralty 諸島デ
ハ丸木舟ノ船艫ニ使用スルト云
フ [Kew Misc. Inf. (1926)]。

本油ニツキテハ辻本満丸・小柳
半二兩氏ガ「南洋産 **アガリツト**
ム 脂中ノ新不飽和酸ニ就テ」ト題
シ工業化學雜誌第 36 編 (1933)
第 3 號、361-364 ニ發表セルガソ
ノ要旨ハ「本脂ノ脂肪酸中カラ
特異ナル不飽和酸ヲ發見シタ。
コノ不飽和酸ハ恐ラクハ新シキ
化合物デアルガ J. van Loon 及
ビ Alph. STEGER ニヨリ發見セラ
レタ Cuepic acid (ブラジル産

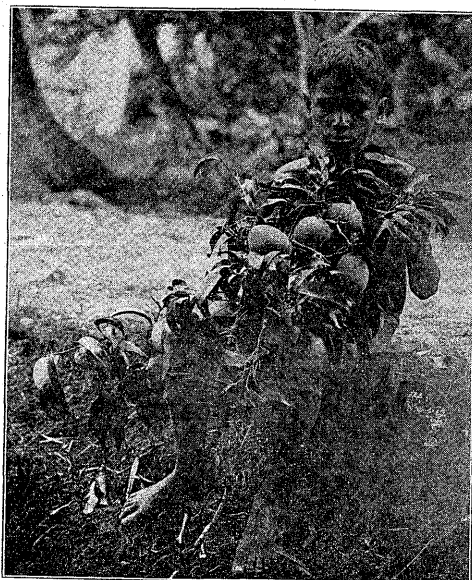


Fig. 3. あいす 實
(或寫眞ニヨル)

*Couspia** *grandiflora* BENTH. ノ種子ヨリ採ル) ニ似テキル。ソノ特長ハ沃素價
ノ高キコトデ又ソノ性質ガ桐油ニ似テキル。」トアル。

本油ヲ採集利用スル會社ガ最近 パラオ ニ設立セラレタコトヲ聞ク。ソノ利
用ハ不明ナルモ桐油或ハ蓖麻子油ノ代用トナルモノデアラウ。本油ハ又近頃
油畫ニ混合スル所謂「蝕キ油」ニ使用スルコトヲ慫慂スル者ガアル。被覆力强
ク光澤モ良ク乾燥早キヲ特長トスル様デアル。更ニ研究ガ必要デアル。本屬中
西アフリカニ産スル *Parinarium excelsum* SABINE, *Parinarium macrophyllum*
SABINE ノ實ハ何レモ食用ニ供セラレ、前者ハ Graue Pflaume (Grey plum)、
後者ハ Ingwerpflaume (Ginger-bread plum) ト稱スル果實ヲ産スル。あいすノ
果實利用上參考ニ資スベキデアル。又本種ノ材ハ通直ナモノガ多イ。ポナペデ
ハ島民ハ樹皮ヲ剥ギ小屋ノ建設ニ使用スル。

本樹將來ノ利用見込ミトシテ一言スベキハコノ樹ノ種子ハ發芽シ易ク、天然
稚樹ノ發生ガ旺ンデアル。從テ人工造林ハ可能デアラウ。故ニ果實ノミナラズ
有用材トシテ大ニ研究スベキ樹種デアル。

* 本屬ハ *Parinarium* ニ極メテ近シ。

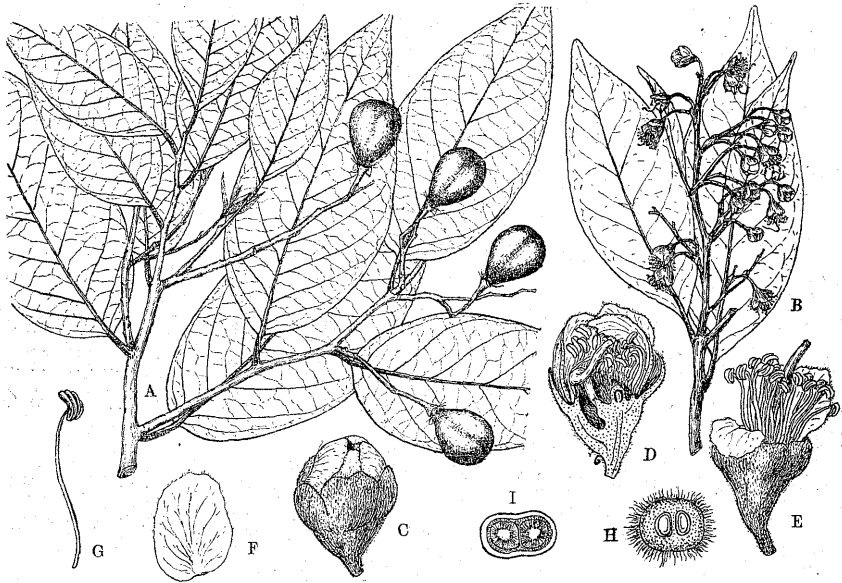


Fig. 4. *Parinarium palauense* KANEHIRA.

A 實ヲ有スル小枝 $\times \frac{1}{2}$ B 花ヲ有スル小枝 $\times \frac{1}{2}$ C 蕾 $\times 3$ D 同縦斷 $\times 3$
E 開キタル花 F 花瓣 $\times 2$ G 雄蕊 $\times 4$ H 子房横斷(擴大) I 實横斷 $\times \frac{1}{2}$

あぶがを

ナホ前述シタ如クパラオニハ *Parinarium palauense* KANEH. ガアル。パラオ本島ノ南部アイミリーキノ叢林中ニノミ散在スル喬木デ他ノ地方ニハ之ヲ見ナイ。島名ヲあぶがをト云フ。本種ノ實ハ倒卵形、長さ僅ニ 2cm ニ過ギズ。厚キ内果皮ハ骨質狀デ2室ヲナシ子葉ハ肉質ナルモ、あいすニ比シソノ量ガ著シク少イカラ、利用上ハ甚ダ不利デアルガ結實量ハ比較的ニ多イ。植栽、成林ノ見込ニ就テハ不明ナルモ種子發芽ノ促進ヲ行ヘバ容易デアラウ。油ノ含有量及ビソノ性質ニ就テハ既ニ研究アルモ未ダソノ結果ヲ聽カズ。本種ニツキテハ更ニソノ材及ビ實ノ利用ヲ研究スル必要ガアルガ油脂植物ノ一トシテ茲ニ紹介スルコトニシタ。